

高校生のすべきこと

教務主任 中村 剛久

ある高校生の話をします。彼は、吹奏楽に燃えていました。進路も音楽大学という明確な夢があったため、ひたすら音楽に打ち込みました。自分がすべきことは楽器の練習であり、授業ではない。自分のためには必要なのは演奏技術を磨くことだけで、それ以外は必要ない。そう信じていたため、授業など、優先順位が低かった。学校に行かず、楽器の練習をすることもしばしば。

皆さんは、彼をどう思いますか。夢に向かう素晴らしい人?将来を考えて行動ができる賢い人?…私は、なんてバカだったのだと、過去の自分をふりかえって思います。

人生に必要なことが何かなって、十数年しか生きていない高校生なんかにわかるはずがない。人生は、高校を卒業してからのほうが圧倒的に長い。そして様々な人と出会い、多くのドラマに遭遇し、想像を超えた日々を歩んでいくのです。そのような人生で必要になるのが経験であり、知識です。君が今「学ばされている」、「進路に関係がない」と思う全てのことが、大きな力になるのです。

好きなことは放っておいても自分からやるでしょう。でも嫌いなことはやらない。そんな好き嫌いを超えた学びを提供してくれる学校という環境も、あと少しでさよならです。今君がやるべきは、「高校生らしく、目の前の課題をこなすこと」です。私は私の後悔をもって、君たちにこのアドバイスを送ります。

輝潮祭を終えて

生徒指導主事 小野 公義

今年度から生徒課に所属し、輝潮祭の運営に携わることとなりました。輝潮祭が終わった今、ほっとする気持ちと少しさみしい気持ちが入り交じった複雑な心境です。

今年度のテーマは「新時代」でした。江之島高校にとってはコロナが明けて何の制約もない久しぶりの輝潮祭。3年生たちは、コロナ前にどんな輝潮祭が行われていたかも知りません。まさに手探りのなかでいろいろと思案をめぐらせ、これからの輝潮祭の「新時代」を飾るにふさわしい催しを行いました。多くの保護者の方々に御来校いただき、生徒たちがエネルギーに活動する姿、真摯におもてなしをする姿を見ていただくことをうれしく思います。しかし、元気な姿を見せていても準備の段階で友だちと議論して苦しい思いをした生徒たちや縁の下で力持たせて表舞台ではない裏方として必死に働いていた生徒たちがいたことも事実です。いろいろな立場や役割の人がいて今回の輝潮祭が素晴らしいものになったのだと確信しています。そして、そんな3年生の姿を見て、2年生、1年生が何かを学び、今後の学校生活について自ら考える姿勢が生まれるきっかけになればいいと思います。

最後に、今年度の輝潮祭のキャラクターは「前進マグロ」でした。簡単に言えば、これは足の生えているマグロです。生徒会長が自ら着るきを作成し、それを着て校内を歩いてくれました。このキャラクターの意味を私なりに「一步一步着実に必死に泳ぎ続ける」と解釈しました。江之島高校は40周年を迎えました。今までも着実に歩んで来たと思います。そして、これからの40年も必死に「新時代を」泳ぎきって欲しいと思います。

進路実現にむけての本校の取り組み

進路指導主事 近藤 茉里

昨年度より放課後に自習ができる進路学習室を進路室の隣に設けました。静かな環境で部活動終了後に学習に取り組む生徒の姿がみうけられます。

朝学習の時間には、動画視聴・テストの実施ができる到達度テスト連動配信課題に取り組むことで苦手分野を減らせるよう学習をしています。朝の一定の時間常にタブレットを使用した学習を継続しています。

昨年度の就職では、指定校求人数は179(約200人分)でした。就職希望者にとって一人約3社選べる状況でした。進学では指定校推薦の依頼は、大学119校、短大50校、専門学校138校でした。高校生活で力を入れて取り組んだ学習や部活動などの成果をいかして、様々な選択肢の中から生徒が進路を選択することができました。以上のような本校卒業生の状況を理解して、将来の夢の実現に繋げてほしいと願っています。

本校の進路学習では、1年生は進路の可能性を広げ、2年生は進路希望を決定し、3年生は進路実現するように指導しています。保護者の皆様は、常に将来を考える相談役になっていただいていると思います。ご家庭では経済的な面も含めて進路についてお話していただきたいです。また、各学年で実施される進路ガイダンスは保護者の皆様の参加も可能ですのでご利用ください。進路指導スケジュールの詳細は、お手持ちの進路の手引きにも記載していますのでぜひご覧ください。

生徒の活躍



●令和5年度 第71回静岡県高等学校美術・工芸展 静岡県高等学校文化連盟優秀賞
●令和6年度 全国高等学校総合文化祭 美術・工芸部門 出品
31HR 佐野 珠実



●令和5年度 第71回静岡県高等学校美術・工芸展 静岡県高等学校美術・工芸教育研究会優良賞
31HR ウォン 鈴



21HR 宮嶋 羅布菜



●令和5年度 第71回静岡県高等学校美術・工芸展 特選
21HR 浅野 楓人



●東海高校総体 陸上競技 男子ハンマー投げ
32HR 浜崎 泰次



飛翔

News

御挨拶

空高く飛びめぐるために

PTA会長 タイ 美代

本年度PTA会長を承りましたタイです。私の母校で、在校生、先生、PTA皆様方と一緒に活動できる機会を与えていただき、大変うれしく思っております。

先日文化祭のオープニングに参加させていただきました。何も無い所から考え、議論し、創作し、発表できる型にする皆さんの姿は、胸につけている校章が表す「和衷協同」という言葉、まさにそのものだったと思います。

三年間の高校生活はあっという間です。ここから皆さんが大空(人生)で飛翔するために、「高く」飛べる羽、「まっすぐ」飛べる羽、「たく

ましく」飛べる羽を自分、仲間、先生、家族、地域の方々と共に育て大きく立派にしていきましょう。

保護者の皆様方、日頃より本校PTA活動へのご理解、ご協力ありがとうございます。これからも子ども達を深い愛情と温かい目で見守ってくださると幸いです。



御挨拶

浜松江之島高校生たちの未来は明るい

校長 磯部 正之

4月、1年生の制服が新しくなりました。新旧どちらの制服も素敵です。それぞれの制服を着こなし、日々、生徒たちは様々な課題や問いに対して考える力を磨き、自分で自分を監督できる力を身に付けようと学校生活を送っています。

6月、晴天の下で輝潮祭が開催されました。笑顔とともに準備や発表に取り組む浜松江之島高校の生徒たちの行動力や表現力は素晴らしく、中でもデジタル活用能力はとてとても秀でていました。

今年の2月、特別支援学校の新分校が令和8年4月に浜松江之島高校内に設置されることが県から発表されました。再来年度から同じ学校内

で特別支援学校の生徒と交流し、お互いに理解を深める『共生・共育』が始まります。仲間が増えることが今から楽しみです。

そんな生徒たちを応援するために、「生きる力を育む、自己指導能力の獲得、地域社会に貢献」を学校の教育活動の柱としています。自分のことを深く理解して、自分のよりよい生き方について考えた生徒が1人でも多くなることを目標の1つにしました。その結果、仲良く楽しく明るく元気な浜松江之島高校になれたら幸いです。頑張る生徒たちにこれからも皆様の応援をよろしくお願いします。

令和6年度進路ガイダンス





文化祭 **輝潮祭**
2024.6/7・8

